

第5回 静岡県教育研究のつとめ

〈 集会テーマ 〉

いま、教育に求められているものとは

—— 教師, 父母, 大人は, 子どもに, どう関わったらいいのか ——

【 日時 】 2012年11月11日(日) 9:30~17:20

【 会場 】 浜松学院大学・布橋キャンパス 浜松市中区布橋三丁目2番3号

【 日程 】 ◇ 11月11日(日)

9:30	10:00~12:00 12:00~	13:00~ 14:20	14:30~ 15:50	16:00~ 17:20	
受付	開会全体会 記念講演	昼食・休憩	分科会Ⅰ	分科会Ⅱ	分科会Ⅲ
			小学校英語・授業ワークショップ	英語分科会	英語分科会
			体育実技・みんなができる器械体操	体育分科会	体育分科会
			原子力発電とは	理科分科会	理科分科会
			理科の仮説実験授業入門	理科の仮説実験授業入門	
			いじめの芽を見逃さないで	生活指導分科会	生活指導分科会
			困っている子に寄り添おう	特別支援教育分科会	特別支援教育分科会
			図工・美術授業入門		
			家庭科授業入門		
				本音で語ろう、生徒・父母・教師	本音で語ろう、生徒・父母・教師
				小・中一貫教育について	小・中一貫教育について
				社会科分科会	社会科分科会

分科会は3時限。各時間を自由に選択して参加することができます。

□開会全体会

- 開会あいさつ

集会実行委員長 浜松学院大学 大野木龍太郎

□ 記念講演 “弱さ”の持つ力と可能性を育む教育

むかいやちいくよし

* 講師 向谷地生良氏

(北海道医療大学看護福祉学部教授, 社会福祉法人・べてるの家理事,
浦河赤十字病院ソーシャルワーカー)

〈主な著書〉 『「べてるの家」から吹く風』(いのちとことば社, 2006年)

『安心して絶望できる人生』(NHK出版, 2006年)

『統合失調症を持つ人への援助論』(金剛出版, 2008年)

『技法以前』(医学書院, 2008年) その他共著など多数

分科会 (13:00~17:20)

1	小学校英語授業ワークショップ
2	体育実技「みんながみんなでわかり、できる器械運動」
3	原子力発電
4	いじめの芽を見逃さないで
5	仮説実験授業
6	図工・美術分科会 ○実践された作品を持ち寄り鑑賞 ○作品作りを体験
7	家庭科分科会 ○主権者を育てる授業づくり ○家族の授業実践報告を受けて、子どもを中心にすえた授業づくりについて学び合います。
8	困っている子に寄り添おう ○小学校、高校の現場から
9	学校と教育のあり方を本音で語ろう
10	小・中一貫教育
11	英語分科会 授業の実践から英語を通して平和を考える ○第五福竜丸事件、地域の教材を授業にどう生かすか？ ○本当にAll English? 英語嫌い、塾通い、無用な混乱を生じさせないためには？ ○授業実践報告
12	体育分科会
13	理科分科会 ○文科省の放射線読本の分析と批判
14	社会科分科会 ○小5めんそ〜れ沖縄 校内研修で沖縄学習の最後に、抱える問題点を話し合った5年生の姿
15	生活科分科会 小2学区探検
16	子ども集団づくり分科会 小6、高校の実践
17	特別な支援が必要な子の指導

記念講演 (10時~12時)

「“弱さ”の持つ力と

可能性を育む教育」

講師 向谷地 生良 氏

(むかいやち いくよし)

向谷地さんは、精神障がい(統合失調)を持つ人たちが互いにケアし合い、いっしょに働きながら共同生活を営む北海道・浦河町にある共同体「べてるの家」の創設者で、精神福祉の分野で今、日本中から注目を集めています。特に、「べてるの家」の住人が自分自身を研究対象とする「当事者研究」がおもしろい。自分の弱さを出し合い、他者との対話や応答の中から自分自身を再発見し、それを力に変えていく。もしかしたらこれは「べてるの家」の住人たちだけでなく、どんな人にもあてはまることかもしれません。



□ 参加費 (資料代)

教員 1000円

一般 500円

大学生以下は無料

※当日の弁当予約は午前10時まで

【連絡先】 教育研究のつどい事務局

須部友康 方

Tel (053) 433-9851